

平成30年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川)特別企画

※プログラム内容は都合により変更することがあります。

平成31年2月8日(金):大会1日目午後

| | | | | |
|----------------------------|---|-----------------------------|------------------------|-------------|
| 第1会場 | 市民公開シンポジウム「畜産物の安全性確保と販売戦略 ～安心・安全な畜産物を提供するために～」 | | | 13:00～16:00 |
| | 公益社団法人神奈川県獣医学会 | | | |
| | 生産者と消費者を安全と信頼で繋ぐ養豚農場管理獣医師の取り組み | 大井宗孝 | 豊浦獣医科クリニック・神奈川県 | |
| | 安全な畜産物の提供を目指す「農場HACCP認証」取得に向けた取組事例 | 萩原茂紀 | 一般社団法人神奈川県畜産会 | |
| | 獣医系大学における産業動物獣医師教育の充実について ～午前は普通に講義をうけて、午後はツナギで臨床実習！ | 恩田 賢 | 麻布大学 | |
| | 獣医系大学における産業動物獣医師教育の充実について ～神奈川には牛も豚も鶏もいる。そして学びたい学生が集まっている。 | 堀北哲也 | 日本大学 | |
| 神奈川県都市畜産のストロングポイントとその活用 | 竹本佳正 | 一般社団法人神奈川県畜産会 | | |
| 第2会場 | シンポジウム「女性獣医師の職場環境の整備に向けて」 | | | 16:00～18:30 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | 【基調講演】女性活躍促進と働き方改革の現状と課題 | 武川恵子 | 前内閣府男女共同参画局長 | |
| | 女性獣医師活躍の現状と課題 | 白戸綾子 | 女性獣医師支援対策検討委員会 | |
| | 共働き獣医師夫婦のバトンタッチ型育児休業男性型経験談 (取得の有無が及ぼす影響と職場環境について) | 福中守人 | 十勝農業共済組合 北部家畜診療センター | |
| | 地方獣医師会の女性活躍促進について思うこと | 竹村裕子 | 公益社団法人滋賀県獣医師会 | |
| 大学の女性活躍促進の取り組み | 上村涼子 | 宮崎大学 | | |
| 【総合討論】 | | | | |
| 第3会場 | 教育講演「希少種保全における獣医師の役割」 | | | 13:00～14:00 |
| | 日本獣医公衆衛生学会 | | | |
| | 希少種保全における獣医師の役割 | 村田浩一 | よこはま動物園ズーラシア | |
| 第4会場 | シンポジウム「アジアの獣医師から見た日本獣医師会研修事業」 | | | 17:00～19:00 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | アジア地域臨床獣医師等総合研修事業の概要 | 境 政人 | 公益社団法人日本獣医師会 | |
| | 研修を受講して | Karn Duangthitip | 宮崎大学、タイ | |
| | | Christopher Bacsarpa Luyong | 北海道大学、フィリピン | |
| | 大学における本事業の取組み意義 | 三澤尚明 | 宮崎大学 | |
| 迫田義博 | | 北海道大学 | | |
| 【質疑ならびに討議】 | | | | |
| 第5会場 | シンポジウム「獣医学教育環境の更なる整備充実に向けて」 | | | 13:00～15:30 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | 基調講演と問題提起 | 稲葉 睦 | 北海道大学 | |
| | 獣医学教育の改善・充実に向けた取組みについて | 小幡泰弘 | 文部科学省専門教育課 | |
| | | 釘田博文 | OIEアジア太平洋地域事務所 | |
| | 大動物臨床実習の課題とその解決に向けて | 高井伸二 | 北里大学 | |
| 小動物臨床実習の課題とその解決に向けて | 佐藤 繁 | 岩手大学 | | |
| シンポジウム「豚の繁殖管理の最新事情」 | | | 15:30～17:30 | |
| 公益社団法人日本獣医学会 | | | | |
| ホルモン処置による繁殖管理技術の現状と展望 | 吉岡耕治 | 農研機構動物衛生研究部門 | | |
| 偽妊娠豚を応用した乳母豚の作出 | 野口倫子 | 麻布大学 | | |
| 胚死滅減少による一腹産子数増加を目指した新技術の開発 | 奥山みなみ | 大分大学医学部 | | |

平成31年2月9日(土):大会2日目午前

| | | | | |
|---------------|--|--------------|----------------|-------------|
| 第1会場 | 日本医師会連携シンポジウム「One Healthシンポジウム -ヒトと動物の共通感染症の現状と課題、その対策-」 公益社団法人日本獣医師会、公益社団法人日本医師会、厚生労働省 | | | 09:00~12:00 |
| | 【基調講演】動物由来感染症のワンヘルス・アプローチについて ~医師会から見た連携の取組状況 | | | |
| | 【基調講演】動物由来感染症のワンヘルス・アプローチについて ~獣医師会から見た連携の取組状況 | 井上亮一 | 公益社団法人日本獣医師会 | |
| | ダニ媒介性感染症の生態リスク評価と管理、SFTSを含めて | 五箇公一 | 国立環境研究所 | |
| | カプノサイトファーガ感染症の現状と課題 ~医師の立場から | 小田智三 | 公立昭和病院 | |
| | カプノサイトファーガ・カニモルサス感染症の現状と課題 ~愛玩動物由来感染症としてのカプノサイトファーガ感染症 | 鈴木道夫 | 国立感染症研究所 | |
| 【パネルディスカッション】 | | | | |
| 第5会場 | シンポジウム「猫における疼痛管理の最前線」 日本小動物獣医学会 | | | 9:00~12:00 |
| | 猫の痛みの徴候と評価方法 | 手島健次 | 日本大学 | |
| | 猫の周術期の疼痛管理 | 西村亮平 | 東京大学 | |
| | 猫の運動器疾患と慢性痛の管理 | 枝村一弥 | 日本大学 | |
| | 猫の担癌患者の疼痛管理と癌性疼痛外来の試み | 林宝謙治 下田有希 | 埼玉動物医療センター・埼玉県 | |

平成31年2月9日(土):大会2日目午後

| | | | | |
|-------------------------|---|----------------|-----------------------------|-------------|
| 第1会場 | シンポジウム「東アジア三カ国獣医師会サミット -獣医師会の連携と発展-」 公益社団法人日本獣医師会 | | | 14:00~17:00 |
| | 東アジア地域における動物衛生に関する国際連携について | 熊谷法夫 | 農林水産省動物衛生課 | |
| | 韓国からの提言 | Ok-Kyung Kim | 大韓獣医師会 | |
| | 台湾からの提言 | Pei-Chung Chen | 台湾獣医師会 | |
| | 世界獣医師会からの提言 | Johnson Chiang | 世界獣医師会 | |
| | 日本からの提言 | 藏内勇夫 | 日本獣医師会 | |
| 【パネルディスカッション】 | | | | |
| 第4会場 | シンポジウム「感染症の水際対策最前線」 日本獣医公衆衛生学会 | | | 14:00~17:00 |
| | 海外からの感染症の侵入に備えて -水際対策と初期対応の重要性- | 岡部信彦 | 川崎市健康安全研究所 | |
| | 輸入動物・畜産物の検疫と感染症 | 伊藤和夫 | 農林水産省動物検疫所 | |
| | 輸入食品の検査と感染症 | 三木 朗 | 厚生労働省横浜検疫所 輸入食品・検疫検査センター | |
| | 海外渡航と感染症 -検疫所における対応を中心に | 北澤 潤 | 厚生労働省横浜検疫所 | |
| 第5会場 | シンポジウム「機能性飼料に関する最新知見と機能性食品素材のヒトと家畜への応用」 日本産業動物獣医学会 | | | 14:00~17:20 |
| | 機能性飼料と移行期の飼養管理に関する最近の知見 | 杉野利久 | 広島大学大学院生物圏科学研究科 | |
| | 乳牛における木材クラフトパルプの応用 | 西村慶子 | 宮崎県畜産試験場 | |
| | 牛における活性型酵母製剤の応用 | 竹村 恵 | 山形県庄内家畜保健衛生所 | |
| | 腸内細菌がなぜヒトと動物の健康に重要なのか | 森田英利 | 岡山大学農学部 | |
| | 芽胞菌製剤のユニークさとヒトと動物での作用 | 岡 健太郎 | ミヤリサン製薬株式会社 | |
| オリゴ糖製剤DFAIIIのCa代謝に対する作用 | 大谷昌之 | 日本甜菜製糖株式会社 | | |

平成31年2月10日(日):大会3日目午前

| | | | | |
|----------------------------------|---|----------|--------------------|-------------|
| 第1会場 | シンポジウム「牛白血病の防除に関する最新情報」 | | | 09:00～12:00 |
| | 日本産業動物獣医学会 | | | |
| | 牛白血病の現状と新しい診断法 | 泉對 博 | 日本大学 | |
| | 感染経路について(吸血昆虫、垂直感染など) | 山本健久 | 農研機構動物衛生研究部門 | |
| | BLV株による病原性の違いと発症リスクの評価 | 村上裕信 | 麻布大学 | |
| | 現場における牛白血病清浄化対策の事例 | 松田敬一 | 宮城県農業共済組合 | |
| 第3会場 | 教育講演「腫瘍療法の最前線」 | | | 09:00～12:00 |
| | 日本小動物獣医学会 | | | |
| | 免疫チェックポイント阻害剤による犬の口腔内悪性黒色腫に対する新規治療 | 高木 哲 | 麻布大学 | |
| | 腫瘍に対する動注化学療法 | 小林正行 | 動物先端医療センター・静岡県 | |
| | 猫の上顎扁平上皮癌に対する超選択的動注化学療法+放射線療法(RAD-PLAT) | 金井詠一 | 麻布大学 | |
| | リンパ腫の化学療法アップデート | 瀬戸口明日香 | ペイサイドアニマルクリニック・横浜市 | |
| 第4会場 | 教育講演「動物看護師の必須講座 -このことを理解しよう-」 | | | 08:00～09:30 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | 動物介在療法の展望 -犬の介入効果を考える | 竹花正剛 | 一般社団法人 R.E.A.D.D | |
| | 災害動物医療における動物看護師の役割 | 佐伯 潤 | 公益社団法人大阪府獣医師会 | 09:30～12:00 |
| | 動物行動の異常を見つける | 白井晴佳 | にいがたペット行動クリニック・新潟県 | |
| | シンポジウム「SFTS から獣医師、動物医療関係者、飼い主を守れ！」 | | | |
| 日本獣医公衆衛生学会 | | | | |
| SFTS:身近な致死性感染症 | 前田 健 | 山口大学 | | |
| ヒトにおけるSFTSおよび多様な職種連携による流行地域の防疫活動 | 山中篤志 | 宮崎県立宮崎病院 | | |
| 伴侶動物におけるSFTS ～発生状況と診断について～ | 松鶴 彩 | 鹿児島大学 | | |
| 宮崎県における動物のSFTS | 桐野有美 | 宮崎大学 | | |
| マダニの生態とそれに基づくマダニ対策 | 高野 愛 | 山口大学 | | |
| 動物病院における人獣共通感染症対策 | 岡林環樹 | 宮崎大学 | | |
| 【総合討論】 | | | | |
| 第5会場 | 市民公開シンポジウム「農場管理獣医師の仕事を知っていますか」 | | | 09:00～12:00 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | 【基調講演】管理獣医師の役割とその期待 | 丹菊将貴 | 農林水産省畜水産安全管理課 | |
| | | 守永美夫 | 公益社団法人中央畜産会 | |
| | | 大橋邦啓 | 農場管理獣医師協会 | |
| | | 橋本友厚 | 株式会社アーク | |
| | 有田芳子 | 主婦連合会 | | |

平成31年2月10日(日):大会3日目午後

| | | | | |
|--|---|--------------|------------------|-------------|
| 第1会場 | 市民公開講座「人と動物がともに暮らしやすい社会を目指して～一人ひとりができること～」 | | | 13:00～16:00 |
| | 公益社団法人神奈川県獣医師会、公益社団法人横浜市獣医師会、公益社団法人川崎市獣医師会、日本小動物獣医学会 | | | |
| | 海外の事例と県の動物愛護管理施策の今後の展望について | 佐藤裕郁 | 神奈川県健康医療局 | |
| | 人とペットの災害対策～飼い主が日頃から備えておくべきこと～ | 平井潤子 | 特定非営利活動法人アナイス | |
| | もっとペットと幸せに暮らしたい飼い主さんへ ～動物行動学に基づく犬猫のあそびやしつけについて～ | 入交眞巳 | 日本ヒルズ・コルゲート株式会社 | |
| 【パネルディスカッション】(パネラー:佐藤裕郁、平井潤子、入交眞巳、中島孝郎) | | | | |
| 第2会場 | 教育講演「産業動物臨床に応用できる小動物臨床スキル」 | | | 13:00～16:00 |
| | 日本産業動物獣医学会 | | | |
| | 小動物ってこんなことしてます！これって産業動物でもできませんか？ | 鳥巢至道 | 宮崎大学 | |
| | 産業動物に使える心エコー検査の基本 | 菅野信之 | 日本大学 | |
| | 臨床現場で明日から使える牛の運動器画像診断 | 佐藤綾乃 | 酪農学園大学 | |
| 第3会場 | シンポジウム「野生動物対策のあり方」 | | | 16:00～17:00 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | | | | |
| 第3会場 | 教育講演「失敗しない外科手術シリーズ～猫の尿管結石に対する外科治療 update」 | | | 13:00～15:30 |
| | 日本小動物獣医学会 | | | |
| | 腎瘻チューブ | 山崎寛文 | 日本動物高度医療センター・川崎市 | |
| | 尿管切開、尿管膀胱吻合 | 渡邊俊文 | 麻布大学 | |
| | SUB(Subcutaneous Ureteral Bypass) | 小山田和央 | 松原動物病院・大阪府 | |
| 第3会場 | 市民公開シンポジウム「学校動物飼育の支援のあり方を考えよう」 | | | 15:30～17:00 |
| | 公益社団法人日本獣医師会 | | | |
| | 学校で動物を飼うことの意味と教育方針 | 茂呂美恵子 | 東京都大田区田園調布小学校 | |
| | 継続的な学校飼育動物の実践と飼育することの価値 | 三橋正英 | 相模女子大学小学部 | |
| 【パネルディスカッション】(パネラー:茂呂美恵子、三橋正英、木村芳之、處 愛美) | | | | |
| 第4会場 | シンポジウム「わが国の薬剤耐性菌対策～ワンヘルスとしての取り組み」 | | | 13:00～15:00 |
| | 日本獣医公衆衛生学会、日本産業動物獣医学会 | | | |
| | 薬剤耐性アクションプランについて | 大曲貴夫 | 国立国際医療研究センター病院 | |
| | 動物由来薬剤耐性菌モニタリング(JVARM)の概要と 薬剤耐性(AMR)対策アクションプランへの対応 | 川西路子 | 農林水産省動物医薬品検査所 | |
| | ヒトと食用動物における薬剤耐性菌 | 鈴木里和 | 国立感染症研究所 | |
| 薬剤耐性問題へのワンヘルスアプローチ | 臼井 優 | 酪農学園大学 | | |
| 第4会場 | シンポジウム「内分泌学の視点から」 | | | 15:00～17:00 |
| | 公益社団法人日本獣医学会 | | | |
| | GnRHの生理機能 | 汾陽光盛 | 岡山理科大学獣医学部 | |
| | キスペプチンの登場 | 束村博子 | 名古屋大学農学部 | |
| | プロラクチン分泌調節の謎 | 村上 昇 | 宮崎大学 | |
| オキシトシンの新しい機能 | 菊水健史 | 麻布大学 | | |
| 第5会場 | シンポジウム「牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD)対策の現状と課題」 | | | 13:00～16:00 |
| | 日本産業動物獣医学会 | | | |
| | BVDの病態と現状 | 田島誉士 | 酪農学園大学 | |
| | 北海道十勝における清浄化対策について | 宮根和弘 | 北海道十勝家畜保健衛生所 | |
| | 岩手県における清浄化対策について | 八重樫岳司 | 岩手県中央家畜保健衛生所 | |
| 牛ウイルス性下痢ウイルス持続感染牛における免疫組織学的検査 | 矢口祐司 | 茨城県県北家畜保健衛生所 | | |
| 「牛ウイルス性下痢・粘膜病に関する防疫対策ガイドライン(H28)」について | 山木陽介 | 農林水産省動物衛生課 | | |